

ことばの蔵 KOTOBANO KURA

「ことばの蔵」は、人生を生きていく上で大切な考え方や教訓、働き方や職責について、そしてこころの持ち方などについての様々な良い言葉や言い回しなどを収集し、皆さんにご紹介し共有してゆく活動です。



今回の「ことばの蔵」をご紹介頂いた方は・・・

キャリアフィット LSO
(協働事業) 田畑さん

「障がい^{しるべ}は諦める免罪符ではなく、これからどう生きるかを照らす標

田畑 有希

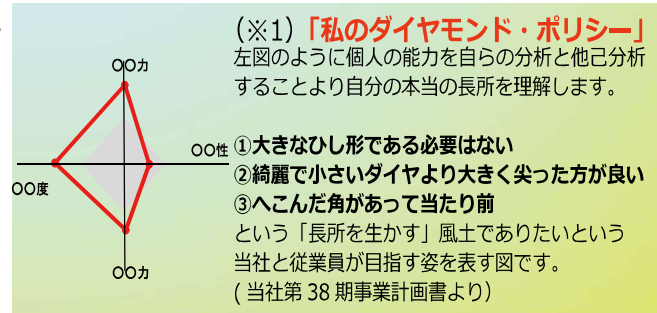
この言葉は、私がキャリアフィットにご縁をいただき定着するまでの経験や感じたことを基に構成した言葉です。私にとっての障害は、先天的にもつ特性のことでしたが、多くの方に当てはめるのであれば、この障害というのは何かしらの課題や困難、とも言い換えられるかもしれません。私はこの会社の前に2つほど医療系の会社に勤めていたことがあります。医療系はマルチタスクや臨機応変な対応が特に求められる場合が多く、私は自分なりに工夫をしても、結局周りからかなり劣った結果を出すことしかできず、その度に自責の念で心身を壊して退職してしまうことになりました。その後もしやと思い病院で検査したところ非定型発達——昔で言う発達障害である可能性が高いことがわかりました。「そうか、だからどう頑張ってもできなかったのか」と最初私は思いました。けれどその内、「このまま迷惑をかけ続ける生き方で本当に良いのかな」と思うようになりました。

「生きるのなら、できるだけ誰かに迷惑をかけるのではなく、誰かの役に立ちたい」

そう思った私は、障害者なら、障害者なりにできることを探そうと、自力で就労移行支援事業所を探し、入所の手続きを行いました。^{※1}その後の訓練で自分の障害、特性が何を得意として何が人の支援を必要とするかを分析しました。この会社で言う「私のダイヤモンド」の形を知っておくことは、特に障害を持つ人にとってはとても大事なことだと痛感しました。これら訓練や就職までの道のり、そして入社後の定着まで、私は多くの人々に助けられて、今では「パソコンで困ったら田畑」とまでの役割をいただけるまでになりました。

ここまでたどり着けたのは、支えてくださった沢山の方々のおかげでもあります。けれど、どれだけ手厚い支援を受けたとしても、

「私はどう生きたいか」^{しるべ}の標の部分が強くなければ、きっとここまでは来られなかったのではないとも思っています。私はこれからも初めての物事に対し、「きっと障害と相性が悪いから」とやる前から逃げるようなことはしないようにしたいです。また、「障害があるからきっとだめだ、どうせできない」と諦めそうになっている人に対し、「それは違う」と講演などを通じてエールを送ることも続けたいです。「誰かの役に立ちたい」という標は私だけでなく他のたくさんの誰かを助けられるものであると、私は信じています。



就労事例が札幌市のホームページでも紹介されました。

札幌市ホームページの健康・福祉のページの「障害のある方の就労事例集」に、当社の田畑さんの働き方事例が掲載されることになりました。様々な働き方を紹介することにより誰もが活躍することができる街をめざそう、という札幌市の取組の一つです。(このページは、「札幌市 就労事例集」のキーワードで検索することができます)



キャリアフィットグループ 令和5年新年会開催報告

金傘賞授賞式

年の初めのお楽しみ!



80歳を超えて勤務された方へ敬意を表して行われます。



会議も開催

それぞれの現場から スタッフさん達が集合!



景品もりだくさん!



社長賞は...?



日頃の勤務、おつかれさまです!



いいもの当たっちゃいました!



キャリアフィットグループでは毎年1月に従業員の方をお招きして新年会を行っております。日頃の皆様の労をねぎらい、他の現場の仲間たちとも積もる話も盛り上がる、年に一度の大切な交流機会となっております。

ひびき-time
月刊 第239号/発行日 2023年1月
発行人/村上 真也
編集長/三浦 智也

総合人材情報サービス
キャリアフィットグループ



■本 社/札幌
北海道支店
東北支店
九州支店

人材サービス・アカデミー

施設給食受託サービス

キャリアフィットMS

アメニティサービス

総合警備サービス

キャリアフィットケアサービス